※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　芸術科「書道」

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各分野において、「覚えよう」「話し合おう」「やってみよう」「参考にしよう」の囲みを設置することで、書への興味、関心を喚起したり、課題解決能力を養っていったりしよう。

２　学習の到達目標

(1)　書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)　書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)　主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写と書道との関連と違いについて 線の表情	・「書写」と「書道」との関連と違いを理解する。 ・筆の機能を理解しながら、筆の弾力・開閉等を感じる。（筆の呼吸）	a: 姿勢や執筆法の基本を身につけ表現していく b:基礎・基本を踏まえ表現を工夫していく b:書道の類似点・相違点・正式書体・略式書体について理解し様々な書のよさを味わっていく c:書写と書道の類似点・相違点正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察
	楷書の臨書学習	・孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序・顔氏家廟碑 ・牛けつ造像記 ・各古典の線質がどのように違うのかを考えながら書く。 ・字形と線質が文字の持つ雰囲気とどのように関係するかを理解する。 ・半切３分の１の大きさで楷書の短文作品を制作する。優秀作品は芸文祭に出展	a:筆の弾力を利用する用筆方法を身につけさせる b:書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫していく b:文字の成り立ちに興味を持ち、楷書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっていく c:楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察
	硬筆の宿題 展覧会鑑賞レポート	・整斉の文字構成を覚える。 ・色々な書の表現方法や形式、表現効果を探り、書の鑑賞能力を高めながら、書を愛好する心情を育てる。	a:書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現していく b:書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫していく b:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっていく c:基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察

※令和４年度以降入学生用

二学期	行書の臨書学習基本点画の学習	・行書の基本点画，筆脈を理解する。 ・筆の機能を理解しながら、行書の筆の呼吸を理解する。	a:筆の弾力を利用する用筆方法を身につけていく b:基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫していく b:文字の成り立ちに興味を持ち、行書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっていく c:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品
	・蘭亭序 ・風信帖の臨書	・基本点画が古典の中でどのように生かされるかを観察し、意識しながら臨書する。 ・和様漢字の用筆法を習得する。 ・蘭亭序・風信帖から集字した２字句を半切３分の１の大きさで制作する	a:筆の弾力を利用する用筆法を身につけさせる b:書体の基本的な用筆法を理解し表現を工夫していく b:文字の成り立ちに興味を持ち、行書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっていく c:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察
	篆刻（1字朱印）	・楷書、行書を素材に、印面にうまく収め、刀が筆のようにさまざまな線質を生み出すことを知る。	a:印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし硬筆筆にも応用できる技法をみにつけ表していく b: 篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫していく b:様々な石の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっていく c:名前の行書体を調べ、書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察	・学習プリント ・提出作品 ・取組観察
三学期	かなの臨書学習・平仮名・蓬莱切	・かなの基礎的な技法を身に付ける。 ・漢字の伝来から万葉仮名・草仮名・女手（仮名）の完成に至るまでの変遷の経緯を理解する。 ・蓬莱切の特徴をとらえながら、意連・連綿の技法を習得する。 ・短冊の様式・散らし書きの様式を学ぶ。 ・短冊・色紙に「おほそらに～」を臨書する。	a:単純化された筆使いを身につけ表現していく b:平仮名・変体仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫していく b:墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている c:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めていく	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品	・取組観察 ・学習プリント ・提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用